

授業科目名	教職概論	教員名	河原 国男	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	必修
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
科目番号	SEN101	配当年次	1年前期	こども音楽療育士		
授業形態	講義			情報処理士		
単位数	2単位					
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。					
到達目標	<p>(1) 教職の意義 一般目標 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。 到達目標 1) 公教育の目標とその担い手である教員の存在意義を理解している。 2) 進路選択に向けて、他の職業との比較を通じて、教職の職業的特徴を理解している。</p> <p>(2) 教員の役割 一般目標 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。 到達目標 1) 教職観の変遷を踏まえ、今日に求められる役割を理解している。 2) 今日に求められる基礎的な資質能力を理解している。</p> <p>(3) 教員の職務内容 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。 到達目標 1) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の公務を含めた教員の業務の全体像を理解している。 2) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するために生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。 3) 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。教育職員等による児童生徒性暴力等の禁止に関する法律遵守を含む。</p> <p>(4) チーム学校への対応 一般目標 学校の担う役割が拡大多様化する中で、学校が内外の専門家等の連携・分担して対応する必要性について理解する。 到達目標 1) 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担して、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」、「5.教育実践力を身につけている。」、「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	「教員になる」ための出発的に位置づけられる。教職の意義、教員の役割、求められる資質能力、その職務内容等に関する基礎的事項についてとりあげ、関連する資料を紹介する。講義を中心とするが、「振り返り」によるアクティブ・ラーニングを促すため、授業毎にフィードバックコメントを求める。また、そのコメントの一部を次回に紹介し、振り返りを促す。					
履修条件・注意事項	後期必修の「教育原理」とともに、教職の基礎として重要である。 テキストの事項解説の部分も読み通すことが望ましい。					
授業計画	上記の目標に到達するため、各回は以下に示す内容を取りあげる。関係する目標も、付記する。 第1回：教職の意義-1) どのような教師をめざすか… (1) 2) 第2回：教職の意義-2) 「学校」の史的基盤… (1) 1), 2) 第3回：教職の意義-3) 学習指導要領… (1) 1)					

	<p>第4回：教員の役割-1) 「なにができるようになるか」…(2) 1), 2)</p> <p>第5回：教員の役割-2) 「言語能力」について…(2) 1), 2)</p> <p>第6回：教員の役割-3) 「どのように学ぶか」…(2) 1), 2)</p> <p>第7回：教員の役割 4) 生徒指導について…(2) 1), 2) (4)1)</p> <p>第8回：教員の役割 5) 学級経営について…(2) 1), 2) (4)1)</p> <p>第9回：教員の役割 6) 特別活動について…(2) 1), 2) (4)1)</p> <p>第10回：教員の役割 7) 幼小中の連携…(2) 1), 2) (4)1)</p> <p>第11回：教員の役割 8) 地域との連携…(2) 1), 2) (4)1)</p> <p>第12回：教員の職務内容 1) 「研修」…(3)2)</p> <p>第13回：教員の職務内容2) 校務分掌について…(3)1)、(4)1)</p> <p>第14回：教員の職務内容 3) 教員の服務義務及び身分保障（教育職員等による児童生徒性暴力等の禁止に関する法律遵守を含む）…(3)3)</p> <p>第15回：教職への進路選択を再確認する…(1) (2) (3)</p>
授業外学修時間の確保について	<p>事前・事後学習として週4時間以上行うこと。</p> <p>〔事前学習〕：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布された資料内容、およびテキストについては予め目を通して理解に努め、疑問・不明点等を書き出し、ファイルしておくこと。 <p>〔事後学習〕：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容について、配付された資料及び講義中のメモに基づいて振り返って十分な理解に努め理解内容をノートすること。資料については必ずファイルし活用できる状態にしておく。
学生に対する評価	<p>教職の意義、教員の役割、職務内容に関して、斉藤喜博『授業入門』の読書感想レポート20%・小テスト10%、定期試験70%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Driveに掲示する。
テキスト	<p>河原国男『教職基礎～「教職概論」・「教育原理」～』（2025-2027年度版）を使用する。関連内容の資料を授業時に配付する。</p>
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・必読課題として『人と教育双書 斎藤喜博 授業入門』国土社、を指示します。図書館の指定図書として10冊、配架してあります。 ・令和3年、中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」
担当者からのメッセージ	<p>学校の「先生」が日々どんな仕事に取り組んでいるか、その基本的事項について理解するのが、本科目のねらいです。児童、生徒として、学ぶ側から「先生」の仕事をこれまで捉えてきたことでしょうか。この授業ではその「学び」を導く側、「教える」側から、仕事を捉えます。「学校・施設インターンシップ」「教育実習」での学校現場体験とは、互いに補い合う「理論と実践との往還」の関係が期待されます。同じ講義科目ですが、「教育原理」とも、互いに補い合う関係です。「原理」とともに、教職基礎として位置付けられるでしょう。</p>
オフィスアワー	<p>水曜日：16:30-17:00 メール等でアポイントを取ることが望ましい。</p>
備考	